

「自立心・対話力・創造性」活力あるコミュニケーションで結ぶ学園広報誌

神女広報

vol.24

2017 Summer
CROSSROADS



特集

神戸女子大学・神戸女子短期大学 新体制始まる

6 教育研究活動

15 地域連携

18 神戸女子大学附属高倉台幼稚園

19 インフォメーション

神戸市立須磨離宮公園
「ブルー・バニー」

学校法人行吉学園

神戸女子大学 神戸女子大学大学院 神戸女子短期大学
神戸女子大学教育センター 神戸女子大学附属高倉台幼稚園

大学と短期大学の特性を生かし
より緊密に連携し
建学の精神を実現します

学長 中島 實

特集

神戸女子大学 神戸女子短期大学 新体制始まる

行吉学園 神戸女子大学は、平成 29 年度から現在の多様な教育ニーズに応えられる女子の高等教育機関として、大学、大学院、短期大学を一体的に運営し、それぞれの教育組織の特性を生かし、より緊密に連携することで建学の精神を堅実に実現するためのスタートを切りました。

その第一歩として、4 月から神戸女子大学 中島 實学長が、新たに短期大学の学長も兼任することになりました。

今回は、学長として 2 期目に入る中島学長の 1 期 4 年間の成果と次なる目標、学長を支える体制について紹介します。



学長 中島 實 Profile

学歴 昭和49年 3月 神戸大学 教育学部卒業
名古屋大学大学院 教育学研究科
(教育心理学専攻) 修士課程修了
平成17年 博士(心理学) [名古屋大学]
略歴 昭和59年 4月 大阪教育大学 教育学部 助教授
平成 6年 4月 神戸女子大学 文学部 助教授
平成 9年 4月 神戸女子大学 文学部 教授
平成22年 4月 神戸女子大学 文学部長
平成25年 4月 神戸女子大学 学長就任
平成29年 4月 神戸女子大学 学長再任
神戸女子短期大学 学長就任 現在に至る

所属学会

日本心理学会 日本教育心理学会
日本認知心理学会 関西心理学会

神戸女子大学学長の再任 神戸女子短期大学学長の新任に伴う 今後の取組について

神戸女子大学・神戸女子短期大学
学長 中島 實

このたび、神戸女子大学学長ならびに神戸女子短期大学学長を兼任することになりました。微力ながら精一杯努めてまいりたいと思っております。

神戸女子短期大学は昭和25（1950）年に、神戸女子大学は昭和41（1966）年に開設され、現在、神戸女子大学は4学部10学科1専攻科、大学院3研究科7専攻、神戸女子短期大学は3学科で構成されるに至っております。学び舎となるキャンパスは、神戸女子大学（家政学部と文学部）が須磨キャンパス、神戸女子短期大学がポートアイランドキャンパスとして、永らくそれぞれの大学がキャンパス内で完結する体制で教育研究を行なってきました。その後、本学の発展に伴い、ポートアイランドキャンパスに大学の健康福祉学部、次いで看護学部が新たに開設されるに至って、ポートアイランドキャンパスは短期大学、大学の2学部と大学院の1研究科が併設されるキャンパスになりました。同時に、大学の学び舎も拡充され、須磨キャンパスとポートアイランドキャンパスにまたがるものとなり、今日に至っております。

そのため、ポートアイランドキャンパスにおいて大学の2学部と短期大学が併存する状況の中、大学と短期大学の特性を生かしながら集約的かつ相乗効果をさらに高めるよう、教学組織、運営体制を再整備することが必要とされております。この点は、同時に両キャンパスを含めた学園全体として大学、大学院、短期大学を一体化した形での教学組織、運営体制の整備にも連動するものであります。まずは、これらを基本課題として取り組んでいきたいと考えております。

中島学長就任時からの神戸女子大学 主なあゆみ

平成25年4月

中島 實学長 第6代 神戸女子大学 学長に就任

平成26年4月

須磨キャンパス図書館にライブラリー・commons設置

平成26年8月

静宜大学(台湾)と「友好交流に関する協定」締結

平成27年4月

ポートアイランドキャンパスに看護学部開設

平成28年4月

ポートアイランドキャンパスに健康栄養学研究科
健康栄養学専攻開設

平成29年4月

家政学部 管理栄養士養成課程の入学定員、編入学定員
の変更

健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科の入学定員の変更

学長室が新たに設置される

学長が大学及び短期大学を兼任することに伴い、組織運営を円滑に行なうための部署として事務組織規程の改正により学長室が設置されました。

学長室が所掌する事務は、大学教育推進業務として、学長の諮問機関である大学教育推進会議の運営、自己点検・評価活動、FD・SD活動、各種研究支援等に関する事、またIR（Institutional Research）推進業務として、大学運営の基礎となるデータの収集・分析等に関する事、及び秘書業務に関する事となっています。

本学の教育研究上の目的を達成するためにこれらの業務を着実に
行ない、学長のリーダーシップに基づく大学運営を支えます。



須磨キャンパス



ポートアイランドキャンパス



神戸女子大学 学長を支える2人の副学長にインタビュー

副学長 平田 耕造

×

副学長 栗原 伸公

■ 副学長の役割についてお話をください。

平田耕造 副学長（以下 平田） 中島学長のガバナンスを発揮した大学運営を支えるのが副学長の役割と考え、学長が示すビジョンを栗原副学長と協力して、学長が直接できない事業等を推し進めていきたいと考えています。

栗原伸公 副学長（以下 栗原） 初めて副学長の任をお引き受けしました。何をするのか現時点では確定していませんが、副学長は、学長の思いを結実するために役に立つことが仕事と考えます。家政学部長であった時に、平田副学長のお心遣いで学部長の職務がスムーズに遂行できたと記憶しています。平田副学長を見習っていこうと思っています。

■ 平田副学長は、再任にあたり引き続き推し進めたいプランなどがあれば教えてください。

平田 中島学長の意向を受け、平成26年に、須磨キャンパスにライブラリー・コモンズを設置、教育支援システムが稼動する道筋をつけました。今後は、教材開発、学習支援システムを使ったアクティブ・ラーニングをさらに推進し、学生への学習支援、教員の授業のサポートを推し進めたいという思いがあります。大学全体で見れば導入した教育支援システムを使って授業をしている教員はまだ少数派です。今年の3月に「教育改革・推進フォーラム」で、アクティブ・ラーニングの事例発表会を開催しましたが、この輪を広げていきたいと思っています。多く



神戸女子短期大学
副学長 中川 伸子

神戸女子短期大学の副学長として

神戸女子短期大学の学長は、平成29年4月より神戸女子大学の学長 中島 實教授が兼任し、大学と短期大学の一体的運営が進んでいます。学長のリーダーシップがより発揮できるよう、短期大学には副学長職が6年ぶりに置かれ、私が任命されました。これまで6年間、短期大学総合生活学科の学科長として仕事をしてまいりましたが、今後は中島学長を補佐し、大学と短期大学の一体的運営の推進、及び短期大学のために全力を尽くす所存でございます。

短期大学を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。周知のように、文部科学省は実践的な職業教育を行なう新しい高等教育機関として「専門職大学・

の教員が使えば、学生の学んだ過程や履歴が蓄積され、キャリアサポートセンターに行って就職相談をする時に、学習履歴を容易に提示することができ、自己PR等、より高度なサポートが受けやすくなります。専門性を生かし能力を発揮できる職場への就職につながるのではないのでしょうか。

また、学生の学習支援の効率化のため、個々の委員会、組織に分かれているものの連携を強めることも推し進めたいと思っています。

■ 学生へのメッセージをお願いします。

栗原 神戸女子大学に着任して、学生が、素直で真面目で優しいという印象を受けました。それは10年以上経った今も変わりません。ただ、もともと学生は優秀で素質があるのにここまでできなないと思って自分自身で壁を作ってしまった人がいるのが残念です。自分の能力に気がついてやる気をもってほしいです。これまでのゼミ生を見ていると、英語が苦手な学生に、面白い研究テーマがあるからと言って英語の論文を紹介したら、努力して読めるようになったり、化学が嫌いな学生が自分の興味を引く栄養素の研究のために化学を基礎から勉強し直して得意になったこともありました。研究テーマを見つけ解明しようとする目的があれば、抜群に能力を発揮しています。大学院生の中には、公益財団法人の研究助成を獲得して研究をする人も何人か出ています。やればできる。みんなもっと人の役に立つことができますよと伝えたいですね。

平田 各学科の学生には、いろんなことにチャレンジする学生がいて、中にはとてもダイナミックな活動をしている学生に出会えて楽しいです。より多くの学生に自分の好きなことへ果敢に挑戦して個性を伸ばし、さらに磨きをかけてほしいですね。

短期大学」を制度化し、平成31年度に開設可能としています。神戸女子短期大学の3学科（総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科）においては、建学の精神に謳われるところの「社会の形成者」として「勤労と責任」を重んじる「有為な女性」を育成するための教育を、常に培っております。そして、卒業後の職業への人材育成、健全な社会人の養成を教育成果としてまいりました。

私たちは、「専門職短期大学」の創設といううねりの中でも独自性を持った短期大学として生き残れるよう、教職員一同専心してまいりたいと思っておりますので、何とぞよろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

創造性はきっかけがあると花開きます。それは学生間で連鎖反応をおこし、建学の精神でもある「有為な女性を育成する」ことにもつながります。

■ 神戸女子大学の良さは何でしょうか？

平田 学園のトップと教員の距離がものすごく近く、教員と学生の距離も近いことです。これは大学が一体となって何かをしようとするときにとても大切なことです。

栗原 卒業生の教職員に代表されるように、一人ひとりの学生を心から大切にしているところです。これは他の教職員にも受け継がれていて、学生の生活全般にわたって相談にのり、援助しようとする姿勢は、今後も引き継いでいかなければなりません。



副学長 平田 耕造

Profile

学歴

金沢大学 教育学部卒業
東京学芸大学大学院 教育学研究科修士課程修了
医学博士 [金沢大学]

略歴

金沢大学 医学部 講師を経て
平成元年 4月 神戸女子大学 家政学部 助教授
平成 5年 4月 同大学 家政学部 教授
平成15年 4月 同大学 家政学部長 (~H18.3)
平成18年 4月 同大学 副学長 (~H21.3)
平成19年 4月 同大学 学園情報センター長 (~H22.3)
平成25年 4月 同大学 副学長 現在に至る



副学長 栗原 伸公

Profile

学歴

東京大学 医学部卒業
博士(医学) [東京大学]

略歴

東京大学 医学部 助手
埼玉医科大学 講師を経て
平成16年 4月 神戸女子大学 家政学部 助教授
平成17年 4月 同大学 家政学部 教授
平成22年 4月 同大学 家政学部長 (~H28.3)
平成29年 4月 同大学 副学長 現在に至る



副学長 中川 伸子

Profile

学歴

大阪女子大学(現大阪府立大学) 学芸学部卒業
神戸大学 文学部卒業
大阪女子大学大学院 文学研究科修士課程修了
神戸女学院大学大学院 文学研究科
博士後期課程満期退学

略歴

平成 8年 4月 神戸女子大学瀬戸短期大学 講師
平成12年 4月 同短期大学 助教授
平成16年 4月 神戸女子短期大学 助教授
平成19年 4月 同短期大学 教授
平成20年 4月 同短期大学 図書館長 (~H22.3)
平成22年 4月 同短期大学 学生部長 (~H23.3)
平成23年 4月 同短期大学 総合生活学科長 (~H29.3)
平成29年 4月 同短期大学 副学長 現在に至る

古典芸能研究センターからのお知らせ



公開研究会「伝統と現代をつなぐもの－民俗芸能と古典芸能－」

神戸女子大学古典芸能研究センターは、平成28年11月26日（土）に公開研究会「伝統と現代をつなぐもの－民俗芸能と古典芸能－」を開催し、約80名の参加者を迎える盛況となりました。



古典芸能研究センター長
川森博司教授

冒頭、川森 博司古典芸能研究センター長より、この研究会について、古典芸能と民俗芸能は単に洗練と素朴の関係にあるのではなく、相互に共通する要素を持ち、影響を与え合いながら、それぞれの場で発展を遂げてきたという見地に立って、主に民俗学の立場から「伝統と現代を

つなぐもの」について考察するとの趣旨説明を行ない、研究発表に入りました。

最初の登壇者、沖縄県立芸術大学附属研究所共同研究員の遠藤 美奈氏は、沖縄の人びとの生活に根付いた民俗芸能が、現代的な解釈のもと、どのように継承されてきたのかをハワイでの事例を中心に発表されました。

続いて、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター教授の藤田 隆則氏は、民俗芸能の歌舞の伝承で発生する「コトバのウタ化」について、練習の場での調査を通して独自の考察を発表されました。

3番目の古典芸能研究センター客員研究員・元兵庫県立歴史博物館館長補佐の小栗栖 健治氏は、兵庫県下において、かつて荘園の鎮守社であった神社の祭礼行事には、都の祭礼の影響が認められることをさまざまな史料を使って示されました。

最後に登壇された追手門学院大学教授の橋本 裕之氏は、長年の実地調査にもとづき、播磨の王の舞の特徴を若狭の事例とも照らし合わせながら考察されました。



その後の総合討論では、法政大学能楽研究所教授・古典芸能研究センター客員研究員の宮本 圭造氏と国立歴史民俗博物館教授の松尾 恒一氏をコメンテーターに迎え、川森 博司古典芸能研究センター長の司会のもと、研究発表者の4名が意見を出し合い有意義な討論が行なわれました。



沖縄県立芸術大学附属研究所
共同研究員 遠藤美奈氏



古典芸能研究センター
客員研究員 小栗栖健治氏



京都市立芸術大学日本伝統音楽
研究センター教授 藤田隆則氏



追手門学院大学
教授 橋本裕之氏



法政大学能楽研究所教授・
古典芸能研究センター客員研究員
宮本圭造氏



国立歴史民俗博物館
教授 松尾恒一氏

古典芸能研究センター展示室では、企画展「播磨の民俗芸能描－民俗学者西谷勝也氏の写真より－」を開催しており、受講者は昼の休憩時間や研究会終了後、熱心に見学していました。



この公開研究会は、平成 25 年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択された古典芸能研究センターの研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」の一環として開催しました。

特別講座「あの世への想像力－日本人の死生観－」 企画展「^{このよ}此岸から^{あのよ}彼岸へ－志水文庫蔵仏教版画展－」

古典芸能研究センターでは、神戸女子大学・神戸女子短期大学オープンカレッジ冬期講座で特別講座「あの世への想像力－日本人の死生観－」を開講しました。それにあわせて、展示室では、企画展「此岸から彼岸へ－志水文庫蔵仏教版画展－」を開催しました。

特別講座「あの世への想像力－日本人の死生観－」

期間 平成 29 年 2 月 7 日～3 月 14 日 毎週火曜・全 6 回（最終回は見学会）

講座内容

1. 近松世話浄瑠璃における「あの世」観
井上 勝志(古典芸能研究センター兼任研究員・神戸女子大学文学部教授)
2. 能が描く地獄の諸相
樹下 文隆(古典芸能研究センター兼任研究員・神戸女子大学文学部教授)
3. 閻魔さまからの贈り物－有馬温泉の埋め経と縁起－
問屋 真一(古典芸能研究センター客員研究員)
4. 地獄絵の世界
小栗栖 健治(古典芸能研究センター客員研究員)
5. 人が死ぬ時 来迎の姿－志水文庫蔵「来迎図」さまざま 付「涅槃図」解説－
川端 咲子(古典芸能研究センター非常勤研究員)

見学会 3月14日

東福寺涅槃会(大涅槃図御開帳)
解説:川森 博司・川端 咲子



平成29年
3月刊行

神戸女子大学古典芸能研究センター叢書 3

『説経：人は神仏に何を託そうとするのか』

平成 27 年度に開催した説経に関わる公開研究会と特別講座の成果を中心に、新たな論考や資料紹介も加えて纏めた古典芸能研究センター編『説経：人は神仏に何を託そうとするのか』を、平成 29 年 3 月に和泉書院から刊行しました（本体価格 4,500 円）。研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」(平成 25 年度文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」採択)の 2 冊目の成果刊行物です。



平成29年度 科学研究費助成事業採択状況

平成29年度の科学研究費助成事業について、本学園の採択件数は大学39件（継続28件、新規11件）、短期大学2件（継続1件、新規1件）でした。科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まですべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、ピアレビューにより、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行なうものです。

平成29年6月現在

研究種目	研究代表者	研究課題名
基盤研究(B)	家政学部・教授 砂本 文彦	日本統治期朝鮮の貸家と都市構造に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 狩野 百合子	エキストラバージンオリーブ油の食習慣に基づいた複合的栄養機能の解析
基盤研究(C)	文学部・教授 永渕 朋枝	全集未収資料集の作成による藤村研究の再構築
基盤研究(C)	文学部・教授 狩野 恭	8-10世紀インドにおける主宰神論争史研究
基盤研究(C)	文学部・教授 山内 晋次	火薬原料の国際流通からみた前近代の日本とユーラシア
基盤研究(C)	文学部・教授 松下 孝昭	日露戦後における軍隊の立地と遊廓をめぐる都市地域社会
基盤研究(C)	家政学部・教授 栗原 伸公	昆布摂取および昆布と酢同時摂取による高血圧予防メカニズム
基盤研究(C)	文学部・准教授 橋本(藍木)礼子	方言の推量表現に関する文法記述的研究
基盤研究(C)	文学部・教授 吉村(森本)真美	イギリス帝国と近代日本 - 帝國的諸事業・思想の越境的伝搬と展開
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 泉 妙子	介護の可視化 介護技能分析表の作成と暗黙知管理ツールの開発
基盤研究(C)	文学部・教授 小原 依子	リハビリテーション病院における音楽療法の効果判定と技法開発のための実践的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 山根 千弘	コットンギャップを埋める再生セルロースの構造設計と制御
基盤研究(C)	看護学部・教授 東 ますみ	糖尿病患者に対するセルフレギュレーションに基づく遠隔看護の有用性
基盤研究(C)	看護学部・教授 玉木 敦子	地域母子保健における周産期うつ病の予防的介入に関する研究
基盤研究(C)	家政学部・准教授 木村 万里子	いんげん豆類に含まれる高機能性オリゴ糖の探索とその構造解析
基盤研究(C)	健康福祉学部・助教 糸井 亜弥	児童の身体活動量、16~20年後の変化(都市部・農村部の同一小学校における調査)
基盤研究(C)	文学部・教授 田中 美紀子	カントの批判哲学から晩年の思想への発展 - 『オプス・ポストムム』の全訳に向けて
基盤研究(C)	文学部・教授 安原 順子	日本語教員養成と日本語学習者のため双方向学習プログラムの研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 植戸 貴子	中高年知的障害者と高齢の親の同居家族への相談支援: 障害分野と高齢分野の有機的連携
基盤研究(C)	健康福祉学部・教授 小笠原 慶彰	近代神戸において社会事業の展開に寄与した人物に関する研究
基盤研究(C)	健康福祉学部・准教授 佐藤 誓子	特別支援学校における摂食・嚥下障害を有する児童・生徒に対する給食整備に関する研究
基盤研究(C)	看護学部・講師 馬場 敦子	外来通院中の高齢糖尿病患者のフレイルを改善・予防するマネジメントプログラムの開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 下敷領 須美子	短期母乳栄養を選択したHTLV-1陽性妊産婦への訪問助産師による継続支援の開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 藤田 冬子	介護者のためのエンハンスメント・プログラム活用による在宅療養支援
基盤研究(C)	幼児教育学科・准教授 島山 由佳子	子ども虐待ケースに対する区分対応システムでの支援型対応実践モデルの開発的研究
基盤研究(C)	文学部・准教授 久野 和子	「公共空間」としての図書館の先進的研究
基盤研究(C)	家政学部・教授 置村 康彦	分岐鎖アミノ酸と成長ホルモンによる筋萎縮抑制作用の分子機構の解明
基盤研究(C)	看護学部・講師 丸山 有希	小中学校におけるけいれん発作対応に関する教育プログラム開発と効果の検証
基盤研究(C)	文学部・教授 今井 修平	西播磨小藩・旗本領における領主支配と地域社会構造の歴史的研究
基盤研究(C)	文学部・教授 大西 雅裕	母子家庭に関する貧困問題対策の実証的研究 - 母子家庭支援策の構築を目指して -
基盤研究(C)	看護学部・講師 藤原 由子	アトピー性皮膚炎患者が治癒するときの「身体性の変化」を支える方法の開発
基盤研究(C)	看護学部・教授 内 正子	慢性疾患をもつ小児のためのクリニックにおける地域生活型看護ケアプログラムの開発
基盤研究(C)	看護学部・准教授 川喜田 恵美	高齢者の要介護期および終末期の医療と生活に関する意思形成プロセス
基盤研究(C)	幼児教育学科・准教授 永井 久美子	保育職におけるバーンアウトの影響要因についての探索研究
挑戦的萌芽研究	文学部・教授 野口 和美	米国の保健外交政策における民間財団の影響に関する研究
挑戦的萌芽研究	健康福祉学部・准教授 清水 弥生	認知症の人の生活ニーズを中心とした生活支援モデルの構築
挑戦的萌芽研究	家政学部・教授 砂本 文彦	農地転用メカニズムとしてみた軍港都市の形成と地域社会の応答に関する研究
若手研究(B)	文学部・助教 本田 隆裕	空範疇・空演算子に対する英語前置詞と日本語格助詞の平行性
若手研究(B)	看護学部・助教 奥井 早月	2型糖尿病患者への治療中断防止の支援モデルの開発
若手研究(B)	家政学部・研究員 大瀬良 知子	幼稚園給食による食育の効果 - 卒後10年間の追跡調査 -
研究活動スタート支援	看護学部・講師 小路 浩子	中堅期の市町村保健師の職業的アイデンティティの形成プロセスと影響要因に関する研究

※ゴシック文字は今年度新規採択(12件)

分岐鎖アミノ酸の筋萎縮抑制作用の基盤を形成する成長ホルモンの役割

研究期間：平成 26～28 年度

神戸女子大学 家政学部 管理栄養士養成課程 教授 置村 康彦



生物が生きていくために食物を摂る必要があります。私は食いしん坊で、おいしいものを食べるのが大好きです。今は飽食の時代といわれることもあり、日本では自分の好みにしたがついていろいろなものを食べていることが多いのではないのでしょうか。しかし、何百年、何千年前のご先祖様の時代はそうもいかないが多かったのではないかと思います。選り好みせず、生きていくために食物を摂っていた時代が続いたのではないかと考えます。さらに、ずっと昔のことを考えれば、ご先祖様が単細胞生物などの単純な生命体であった頃、栄養となるものがあれば、それをめがけて寄って行ったのではないかと想像します。そう、栄養はシグナルとなり、生命体を引き寄せていたのではないのでしょうか。その名残は、今でもあるのではないかとというのが、そもそもの考えです。現在でも、生物はアミノ酸、脂質、あるいはそれらを基に組み立てた物質を、細胞と細胞の間で情報を運ぶ伝達物質として使っています。神経伝達物質とかホルモンとかいう堅い名前と呼ばれているものがそれです。私は、もっともっといろいろな栄養が細胞間の情報伝達に絡んでいるのではないかと考えています。

今行なっているのは、分岐鎖アミノ酸は筋肉に対してどう

作用するか、その仕組みを明らかにする研究です。筋力向上目的に、運動選手が運動後にアミノ酸を摂ると聞いたことがあるかと思います。今から 10 年くらい前、その効果についてあまり信用していませんでした。その頃は成長ホルモン（これも筋肉に対して重要）の筋への作用を調べていました。成長ホルモンは経口投与では効かないので、経口投与で成長ホルモンを出させる物質である GHRP というペプチドが筋肉に効かないか調べていましたが、あまり筋萎縮防止には効果がありませんでした。その代わりに分岐鎖アミノ酸をネズミに飲ませてみたら、予想外によく効いたことからこの研究に入りました。この分岐鎖アミノ酸はタンパク質の元となる物質として作用しているだけではなく、細胞にタンパク質を作れという指令や、タンパク質を壊すなどという指令を伝えたりする情報伝達物質として作用していることがわかってきました。さらに、分岐鎖アミノ酸が効くためには、成長ホルモンが必要であることもわかってきました。現在、分岐鎖アミノ酸や成長ホルモンによる指令が、どう統合されて細胞内に伝達されていくのかを調べているところです。



細胞培養



RNA量測定

学位取得者 及び 学位論文《概要》

平成28年度 博士学位取得者 博士論文概要

平成 28 年度は、神戸女子大学大学院家政学研究科 食物栄養学専攻に以下の 2 名から学位論文が提出され、博士（食物栄養学）の学位が授与されました。

平成 29 年 3 月 16 日 稲垣 佳映氏（課程博士） 才新 直子氏（論文博士）



課程博士

稲垣 佳映（指導教員：堀田 久子教授）

論文題目

「実エンドウの莢のオートクレーブ抽出物による血清脂質改善効果」

現在のわが国では、野菜や果物などの種子、表皮、切れ端などが日常的な廃棄物として処分されている一方で、環境負荷が小さく循環を基本にした循環型社会の形成が求められている。本研究は、これら食品廃棄物に含まれる成分に人の健康生活に有用・有益のある活性や成分を見出すことを目的としている。

実エンドウは廃棄率が非常に高いが、その莢の食物繊維やポリフェノール含量は比較的多く、特にその莢の食物繊維にはビフィズス菌増殖促進効果、ポリフェノールにも抗酸化活性があるとの報告がある。しかし、生体内における莢の効果について未だ報告はなく、この莢の成分が生体内でいかに作用し、さらに生体にどのように影響を与えるか

を明らかにするため、オートクレーブ抽出法を用いて莢の食物繊維とポリフェノールを同時抽出し、この抽出物（以下、AE と略）を用いて動物実験を行ない、新規な健康補助食品としての可能性を検討した。その結果、AE の糞便総脂質の排泄促進が血清脂質の上昇を抑制する理由の一つであることが明らかとなり、さらに AE は腸管内においてリパーゼ活性阻害やコレステロール吸着作用を持つことが示唆された。また、AE はビフィズス菌の増殖を促進することも明らかとなった。以上の結果から、実エンドウの莢のオートクレーブ抽出物（AE）は、新規な健康補助食品としての活用が期待され、循環型社会の一助となる可能性を持つ。



論文博士

才新 直子（指導教員：山本 勇教授）

論文題目

「アラビアガム分解能をもつビフィズス菌の新規な糖質加水分解酵素」

ビフィズス菌は腸内の有害細菌の増殖抑制や免疫の活性化など、ヒトの健康増進に有益な効果をもたらすことが知られており、食物繊維やオリゴ糖で増殖が促進される。本研究では糖が多様な結合をしているガム類に着目し、アラビアガムを分解してエネルギー源とすることができるビフィズス菌として、ロンガム種の JCM7052 株と JCM7053 株を見出した。（アラビアガムは増粘剤や安定剤などの食品添加物として用いられている）

ビフィズス菌ロンガム種の JCM7052 株をアラビアガムで培養した時、高い比活性を示した α -ガラクトシダーゼ 2 種、 β -ガラクトシダーゼ 1 種、及び α -グルコシダーゼ 2 種を精製して性質を調

べた。その結果、5 種類の酵素はいずれも新規な性質を示し、糖質を加水分解するだけでなく、糖を他の化合物に転移する反応により、種々のオリゴ糖を生成した。 α -ガラクトシダーゼはビフィズス菌の増殖を促進するオリゴ糖の合成に、 β -ガラクトシダーゼは母乳のオリゴ糖成分の合成に利用可能であった。 α -グルコシダーゼはアルコールにグルコースを転移してエチル- α -D-グルコシド等を合成した。エチル- α -D-グルコシドは皮膚の保水作用があり化粧品に利用されている。また、肝障害の保護にもはたらく。

これらの酵素は今後ヒトや動物の健康増進への有益な利用が期待される。

イギリス ケント大学 留学生紹介

平成29年4月12日（水）から2週間、イギリスのケント大学から「イギリス・ケント大学生短期受入れプログラム」の第3期生として、Roha Adnan（ロハ アダナン、以下ロハさん）さんが来日し、神戸女子大学須磨キャンパスで日本語、日本文化を学びました。

ロハさんは、13日に中島 實学長をはじめ、部局長に挨拶をし、図書館のライブラリー・コモンズで開催されたウェルカム・パーティーに出席して、集まった学生たちに日本語で自己紹介をしました。

ロハさんは、ケント大学で英米文学を専攻し、文章や詩を書くことが好きで小説家になりたいという夢があり、日本のサブカルチャーにも強い関心を持っています。大学で半年間日本語を学び、さらに日本への理解を深めるためにこのプログラムに参加しました。

留学生向けに開講している「日本語」の授業では、他の国の留学生と一緒に日本語を学び、さらに文学部日本語日本文学科の専門科目「古典芸能講読」を受講し日本の伝統芸能に触れました。同学部神戸国際教養学科の授業では、ケント大学と大学のあるカンタベリーの町についてパワーポイントを使い、日本語も交えてプレゼンテーションを行ないました。広々とした美しいキャンパ



神戸国際教養学科の「グローバル・ローカル基礎」の授業でケント大学を紹介



「英語で話そう！」の時間、学生同士で会話を楽しむ



神女きもの着隊：和服を着てカフェでくつろぐ



華道部：生け花を体験



神戸国際教養学科の「教養演習」の時間

スに充実した施設のあるケント大学や有名な歴史的建造物であるカンタベリー大聖堂などの画像を提示しながらの説明に、学生はケント大学とイギリスへの興味をかき立てられました。

日本語を学ぶ授業に加えて、日本語日本文学科の学生がチューターを務めて、ロハさんの学びをアシストしました。ランチタイムには「英語で話そう！」という時間があり、さまざまな学科の学生が集まり楽しく会話するなど、親しみやすく明るいロハさんの周りには、常に学生が集っていました。

今回のプログラムの母体となった文学部英語英米文学科の専門科目では各教員のティーチング・アシスタント役になり、学生の英語理解に貢献してもらいました。

課外活動では、華道部、弓道部、剣道部の練習に参加しました。中でも家政学研究所生活造形学専攻の大学院生が主催する「神女きもの着隊」では和服を初めて着用し、学生食堂のカフェで、飲み物を片手に会話を楽しんだ体験は強く印象に残りました。

将来は日本で、英語を教えたいとも考えているロハさんは、短い期間ではありましたが意欲的に日本語を学び、積極的に日本の文化に触れ有意義な時間が過ごせたようです。



1983年	ハワイ大学(米国)
1993年	ケント大学(英国)
1997年	フライブルク大学(独国)
2000年	華南師範大学(中国)
2006年	オークランド工科大学(ニュージーランド)
2006年	ピッツァー大学(米国)
2010年	ウダヤナ大学(インドネシア)

2010年	西安工程大学(中国)
2010年	カセサート大学(タイ)
2010年	高麗大学(韓国)
2011年	チェンマイ大学(タイ)
2011年	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校(米国)
2012年	アイルランガ大学(インドネシア)
2014年	静宜大学(台湾)

神戸女子短期大学 10年目を迎えた小大連携食育プログラム『「まごはやさしい」を作って食べよう』

平成29年2月14日（火）から17日（金）の4日間、神戸市立こうべ小学校の5年生4クラス約130名を対象に小大連携食育プログラム『「まごはやさしい」を作って食べよう』をテーマとした調理実習をポートアイランドキャンパスの調理実習室で行ないました。

このプログラムは、神戸女子短期大学 食物栄養学科の西川 貴子教授が中心になって、児童への食育・健康教育を目標として行ない、平成19年度に開始し平成28年度で10年目を迎えました。

調理実習では、テーマの「ま（豆類）ご（ごま）は（わかめ・海藻類）や（野菜）さ（魚）し（しいたけ・きのこ類）い（いも類）」の食材を全部使った、「一汁二菜＋デザート」を作りました。

このプログラムは、開始当時から、和食の伝統を伝えることも大きな目的にしてきました。平成25年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたこともあり、和食の栄養的に優れた点や健康に良い点、季節感を大事にしていることなど和食の素晴らしさをしっかり伝えていきます。調理実習の前には、同学科の平野 直美教授が小学校で、『病気を防ぎ『元気』を育てる食育』をテーマにした授業も行ないました。

栄養教諭を目指す食物栄養学科の2年生の学生4名が交替で調理方法、安全に関する注意事項を説明しました。同学科の1年生は、調理台ごとに8班に分かれて調理のサポートを行ない、小学生が積極的に楽しみながら調理できるように、細心の注意を払って見守り、アドバイスをしました。

楽しく試食をした後は、審査員として配置された学生が担当のグループの評価をして、友達との協力が素晴らしかったこと、料理が美味しくできたことなどの感想を述べました。

最後に、こうべ小学校の担任の先生方や栄養教諭の先生から、調理実習の様子、料理の出来栄などの講評がありました。

このプログラムに参加した栄養教諭を目指す学生にとっては、児童を指導するという貴重な体験が、大いに勉強になりました。本格的な和食を初めて作った小学生にも和食に対する関心を持つきっかけになり、思い出に残る調理実習となったことでしょう。



調理方法を説明する学生

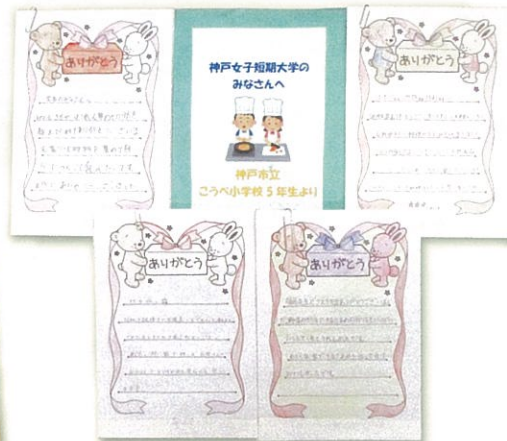


調理実習の様子



西川貴子教授と平野直美教授と食物栄養学科の学生で記念撮影

メニュー	
主食	えんどう豆ごはん
主菜	ブリ大根
副菜	ほうれん草と エノキダケのごま和え
汁	わかめとサツマイモの みそ汁
デザート	きな粉あめ



小学生からのお礼の手紙

神戸女子大学・特別講義&オープンカレッジ特別企画講演会 こうじ屋ウーマン 浅利 妙峰 講演会

神戸女子大学・神戸女子短期大学の母体である学校法人吉学園は、教育・研究資源を地域に還元することを目的に、語学講座、教養講座、健康講座、古典芸能研究センターと共催する特別講座など市民向け「オープンカレッジ」を三宮キャンパス神戸女子大学教育センターで開講しています。

平成29年は「オープンカレッジ」の開講15年を迎え、特別企画として昨今の糀ブームを巻き起こした浅利 妙峰氏による講演会を開催し、その前日にも、ポートアイランドキャンパスにおいて学生を対象とした特別講義を行ないました。

麴と糀について

麴

米・麦・大豆などから作られるこうじ全般をさす。麴は中国から伝わった漢字

糀

米からできたこうじ。白い菌糸が蒸した米に花が咲いたように見えることから日本で作られた漢字

● 神戸女子大学特別講義 平成29年5月19日(金)

演題 「発酵食品・人類の食文化遺産-日本の伝統食:糀のチカラ」

共通教養科目「衣・食・住 I (世界の食文化)」(梶原 苗美教授・松本 衣代准教授担当)の時間に特別講義は行なわれ、健康福祉学部の1年生を中心にその他特別に聴講を希望する学生約50名が受講しました。

浅利氏は、麴菌が生み出す豊富な栄養素を含む味噌・醤油・酢などの発酵調味料で調理された日本食は、素晴らしい健康食であると述べ、麴の三大消化酵素の働きについて、甘酒、玉子焼きなどの作り方とあわせて分かりやすく解説し、麴に含まれる酵素がいかに体内で有益な働きをするか講義しました。



浅利妙峰氏の特別講義の様子



学生から授業の感想を聞く浅利氏

● オープンカレッジ特別企画講演会 平成29年5月20日(土)

演題 「糀のチカラ～食べることは生きること～」

特別企画講演会は午前と午後の2回開催し、全体で約180名の市民の皆さんが出席しました。

浅利氏のユーモアを交えた軽妙な語り口に聴衆は惹き込まれ、メモをとる姿があちらこちらに見られました。講演後には予定時間を越えて会場からの質問が続きました。



特別企画講演会の様子



講演会終了後のサイン会で著書にメッセージ入りのサインをする浅利氏

浅利氏は、自身が江戸時代の文献にヒントを得て甦らせた塩糀や日本の伝統文化である発酵食品作りの知恵を次世代、世界中に伝え、糀で人びとを元気にして命を輝かせたいと述べ講演を終えました。両日とも受講者からは大きな拍手がおくられ、日本食の素晴らしさを再認識し発酵文化を継承する大切さを感じる講演会となりました。

平成28年度の繊維製品品質管理士(TES)の資格試験に合格

繊維のスペシャリストとして評価の高い一般社団法人日本衣料管理協会が認定する資格「繊維製品品質管理士」(以下TES)に、平成28年度は神戸女子大学家政学部 家政学科の2年生1名、3年生3名、4年生1名の合計5名が合格しました。同年度は2,731人が受験し、合格者は493人、合格率18.1%という難しい試験でした。

「繊維のプロ」として消費者に供給される製品の品質・



繊維製品品質管理士(TES)の資格を取得し、表彰も受けた学生たち

性能の向上を図り、品質に関する消費者の要求を業界に伝達するパイプ役も担うTESの資格は、繊維・アパレル業界では高く評価される資格の一つとなっています。

TES受験者のほとんどは、繊維・アパレル業界、消費者センター、百貨店などで働く人が占め、トラブル事例や苦情対応といった現場の経験がない学生が合格するためには相当の努力が必要です。

5名の合格者のうち4名の学生が、就職活動の始まる3年生までにこの資格を取得できたことは大変意義のあることで、学内の平成28年度に顕著な功績を取めた学生を対象とする表彰も受けました。

家政学科では「被服構成学」「被服管理学」「繊維材料学」といった被服や繊維の基礎的専門科目や高度な繊維製品の品質管理を学ぶ「繊維製品品質管理」を開講していますが、資格取得を目指す学生のために特別講習会を年に数回行ない、バックアップを続けています。

3年連続! 専門フードスペシャリスト資格認定試験 成績優秀で表彰される

平成28年12月18日(日)に実施された公益社団法人日本フードスペシャリスト協会の「専門フードスペシャリスト(食品開発)資格認定試験」(注)において、神戸女子大学家政学部 管理栄養士養成課程の3年生(当時)の福富愛さんが、特に優秀な成績を取めた合格者に贈られる優秀賞を受賞しました。

福富さんは、食事と健康の関係について知識を深め、幅広い年代の人びとに食育活動を行ない「食」と「栄養」の正しい情報を伝えたいと思っています。「食品学」「栄養学」「食品衛生学」のさらに幅広い知識も身につけ、実践的な管理栄養士になるためフードスペシャリストの資格も取得することにしました。

特別養護老人ホームでの給食経営管理の臨地実習では、一人ひとりの入居者に合わせた食事が栄養面に加え、盛り付けにも気を配るなど細やかな心遣いで提供されるのを目の当たりにしました。食事が高齢者を支える重要な要因になっていることを実感し、管理栄養士として高齢者施設で働きたいと思うようになりました。現在は、卒業論文の作成や管理栄養士国家試験の合格を目指し、日々勉強に励んでいます。



フードスペシャリスト委員会の教員(右から林利恵子准教授、後藤昌弘教授、清水典子准教授)と中島實学長も一緒に受賞を喜びました



学習中の福富愛さん

(注) 資格取得には、同協会の正会員の大学・短期大学で「フードスペシャリスト養成機関」として認定された特定の学科で所定の科目を履修し、試験に合格すれば卒業時に資格認定証が交付されます。従来のフードスペシャリストから、より高い専門的な知識と技能を備えていると認定するために平成26年度から、専門フードスペシャリスト(食品開発)資格と専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格の認定試験が行なわれている

音楽祭 ローズ・フェスタ開催



平成29年5月14日(日)神戸市立須磨離宮公園において、「神戸女子大学音楽祭 ローズ・フェスタBON VOYAGE～風に乗って～」を開催しました。

神戸女子大学と神戸市立須磨離宮公園はキャンパス・パーク連携を締結して11年目を迎えました。同公園のイベント「春のローズフェスティバル2017」の一つとして「ローズ・フェスタ」をバラが一番美しい時期に開催しています。

当日は初夏の陽気の中、多くの来場者をお迎えすることができました。

ステージでは、若さあふれる学生たちの熱演が繰り広げられ、ステージが終わるたびに観客からあたたかい拍手がおくられました。

パン研究会は、恒例となったパンの無料配布でオリジナルパン「ローズhipベリーパン」「桜あんと大地の芽ぐみ」を配り、今回も大変好評でした。

ワークショップでは、クイズに挑戦しながらバラ園を探検してもらった「ローズ・ワード・パズル～白うさぎを探せ～」で、神戸女子大学オリジナル「ローズカタログ」をプレゼントしました。キッズリーダー部、神戸女子大学学生消防団によるワークショップは、家族連れに人気を集め、子どもたちが楽しく遊んでいました。

ステージのプログラムの最後は、手話部 翼による手話コーラスで、「365日の紙飛行機」の曲にあわせ、来場者と学生が一緒になって365個の紙飛行機を飛ばし閉会となりました。

ローズ・フェスタの企画・運営は、神戸女子大学のローズ・フェスタ実行委員である地域連携推進委員会と「地域学習」履修学生によって行なわれました。また、須磨離宮公園の方々にも多大なご協力をいただきました。出演した学生と運営を支えた学生のいずれにも、学びの多い地域貢献活動となりました。

学生の熱演



参加の学生と教職員で記念撮影

防火・防災総合訓練

平成29年1月24日（火）神戸女子大学須磨キャンパスで、防火・防災管理委員会主催による防火・防災総合訓練を実施し、補講日の授業に登学していた学生・教職員約300名が参加しました。

この訓練は、須磨消防署、須磨消防団と所属する神戸女子大学学生消防団員の協力を得て、大規模地震が起こり、負傷者が発生し、ライフラインが遮断され、帰宅困難者の対応が必要であるとの想定で実施しました。学内で人的被害を最小限に抑えることを目指し、初動指示、非常放送、避難誘導から始まり、負傷者の救出・搬送・AEDによる救命措置を行ないました。そして、神戸女子大学の自衛消防隊も学生消防団と一緒に、消火器・放水訓練を行ないました。

学生消防団員は、訓練に参加している学生や教職員の前で日頃の訓練の成果を発揮して、AEDを使う救命措置や消火栓による放水をスムーズにこなし、自衛消防隊も班ごとの任務を確認し、学生の安全を第一に訓練に取り組みました。

また、今回は炊き出し訓練と非常食の配付も行ない、V-net+^{（注）}の部員が考案した2種類のお粥が、訓練の最後に配られました。

このたびの訓練は、「神戸女子大学危機管理マニュアル」に基づいて行ないました。学生、教職員は、今後発生する確率の高い東南海地震、南海地震をはじめ、大規模災害に向けて日頃の備えや実際に発生した場合に何をすべきかを冷静に判断できるよう、訓練を継続していくことが必要不可欠であることを再認識する良い機会となりました。



須磨消防署の協力を得て訓練を実施



消火栓を使って放水訓練



負傷者を搬送する自衛消防隊



AEDを使う救命措置の訓練



薪を使った釜での炊き出し



V-net+の部員が考案した中華風粥

（注）阪神・淡路大震災をきっかけに発足した栄養士・管理栄養士養成施設の学生のボランティア・ネットワーク「V-net」のうち、神戸女子大学の管理栄養士養成課程の学生で構成されたクラブ。学外・学内でさまざまな食育活動を行なっている



須磨消防署の前川和男課長による講評

手話部「翼」が「青少年を地域で讃える賞」を受賞

平成28年12月10日（土）神戸市須磨区の区役所において「第17回青少年を地域で讃える賞」の表彰式が行なわれ、神戸女子大学の手話部「翼」が社会活動を通じた地域への貢献により表彰されました。

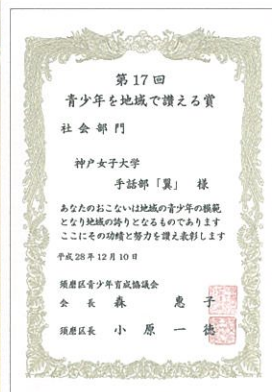
この賞は、神戸市須磨区内の青少年で、社会、スポーツ、文化等の各分野で活躍する者を他の青少年の範として、また地域の誇りとして讃えることにより、本人のより一層の活躍とこれに続く青少年へ夢と希望を与え、地域ぐるみの青少年健全育成に寄与することを目的としています。

手話部「翼」は、昭和53年に創部された伝統のあるクラブです。手話を学び、自己の手話技能の向上を目指し練習を重ねるとともに、聴覚に障がいのある人びとと交流し理解を深めています。

学内外のイベントに参加し、手話コースの披露や小・中学生対象に手話教室を開催するなどのクラブ活動を行ない、須磨区を中心に手話への社会的認知を広げてきた活動が評価され、今回の受賞となりました。



表彰式会場にて表彰状を手にする学生



「エアポート・エコクラブ」が、

一般財団法人
学生サポートセンター「学生ボランティア団体支援」助成に採択・表彰される

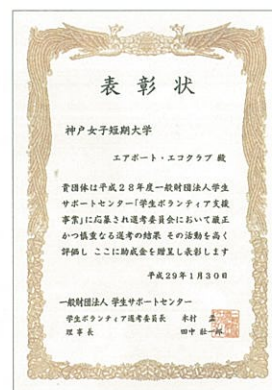
平成29年1月30日（月）神戸女子短期大学「エアポート・エコクラブ」が、一般財団法人学生サポートセンターの助成事業である平成28年度「学生ボランティア団体支援」に全国55大学とともに採択・表彰されました。短期大学の団体としては当クラブが唯一選ばれました。

エアポート・エコクラブは、平成18年の神戸空港の開港イベントに協力するために有志の学生が同好会を作ったのがその始まりです。ポートアイランドキャンパスで学ぶ神戸女子大学の学生もクラブに入部し一緒に活動しています。平成21年に同好会がクラブに昇格し、神戸空港の周年記念行事や「空の日」などのイベントにボランティアとして参加し運営を支えてきました。

また、同クラブは、神戸市環境局のグリーン作戦、禁煙キャンペーンにも参加し、「KOBE三宮・ひと街創り協議会」が主催し、本年第9回を迎えた市内児童養護施設の子どもたちを沖縄旅行に招待する「KOBE夢・未来号・沖縄」にも、第1回から部員が付き添い役として同行し、子どもたちの楽しい思い出作りに貢献していることなど、多様な活動が評価されて今回の受賞となりました。



表彰式会場にて表彰状を手にする学生





神戸女子大学附属高倉台幼稚園



神戸女子大学附属高倉台幼稚園は昭和48（1973）年4月に創立された神戸女子大学附属の幼稚園です。「やさしい心をもち、主体的に行動する子ども」を育てることを教育目標に掲げ、自主・自立・協同・感謝の精神を養い、豊かな情操の素地を培い、思考力・想像力の芽生えを助け、人間形成の基礎を築くことを目的としています。

附属幼稚園として、文学部 教育学科、家政学部 管理栄養士養成課程、看護学部 看護学科、神戸女子短期大学の食物栄養学科の学生の実習や大学の教員の幼児教育研究に協力しています。そして、地域の皆様や保護者の子育ての教育相談も行ない、子育ての支援の拠点としての役割も果たしています。

入園式

平成29年4月8日（土）高倉台幼稚園は第45回入園式を執り行ないました。年少組に37名、年中組に8名、年長組に1名の合計46名が入園しました。

新しく園児となった子どもたちは、式の出席者の多さに少しびっくりしながらも元気よく教員に誘導されて会場に入りました。

「みなさんがくるのをお兄さん、お姉さんたちと一緒に待っていましたよ」という小林 美佐子園長の挨拶に子どもたちの目が輝いていました。担任の教員の紹介の後、文学部 教育学科（幼児教育コース）の学生による歓迎の人形劇が行なわれ、ウサギやカメのパペット、蝶々のペープサートなどを使い、「みんなであそびましょう」と語りかけ園児を楽しませました。



教育実習と「にこにこクラブ」が始まる 学生がパネルシアターで歓迎

高倉台幼稚園では、2歳から3歳の未就園児を対象にした子育て支援「にこにこクラブ」も運営しています。子育て中の保護者同士の交流を深め、子育てをサポートしていくことを目標にしています。

4月18日（火）は、平成29年度第1回の「にこにこクラブ」が開かれ、38名の子どもたちが入会する「はじめの会」が開催されました。

この時期は、教育学科の幼稚園教諭や保育士を目指す学生

80名の教育実習も始まります。学生は、半分に分かれ隔週で年間を通して教育実習を行ないます。当日は、40名の学生が教育実習を開始しました。幼児と同じ目線で話し、理解しようとする実習にのぞみ、ちいさな子どもたちが楽しく遊ぶサポートをしました。教育学科の教授でもある小林園長の指導する学生6名が、幼稚園を紹介する手作りのパネルシアターを行ない、教室で学んだ知識を実践できる貴重な機会にもなりました。



にこにこクラブ: パネルシアターで子どもたちを歓迎



教育実習: 子どもたちと手作りのペープサートで遊ぶ



Information 学園からのお知らせ



表彰式

兵庫県功労者表彰について

平成29年兵庫県功労者表彰の受賞者が発表され、神戸女子短期大学食物栄養学科 達牧子教授が、「教育功労」の部門で表彰されました。



受賞の報告をする達牧子教授(中央)

お知らせ

学科の名称変更について

行吉学園理事会(平成29年5月26日開催)で、文学部 神戸国際教養学科の名称を平成30年度の入学生より以下のとおり変更することが承認され、文部科学省への届出書を提出する予定です。

文学部 神戸国際教養学科

→文学部 国際教養学科(仮称)

授与式

名誉教授称号授与式

平成29年6月20日(火)に神戸ポートピアホテル「菊水の間」において神戸女子大学の名誉教授の称号授与式が挙行されました。

式典では、中島 實学長から先生方へ「名誉教授称号記」並びに「名誉教授証」が授与されました。記念撮影後は和やかに懇談が行なわれました。



名誉教授称号授与式において記念撮影

海老 久人先生

中世イギリス文学の研究で業績をあげる。中でも、翻訳書「チョーサーの世界—詩人と歩く中世—」(平成22年)は専門書としてだけでなく、一般教養書としても高く評価されている。平成22年4月から6年間文学部英語英米文学科主任、平成27年4月から2年間文学研究科英文学専攻主任、平成25年4月から4年間国際交流推進部長。

入江 昌明先生

主専攻は近世の俳諧であるが、本学では国語教育に従事し、主に小中学校の教科書における短詩型文学のあり方について考察し成果をあげる。平成21年4月から4年間、平成27年4月から2年間学校教育学専攻科長、平成25年4月から2年間文学部教育学科主任。

小松 俊朗先生

情報教育に従事し、女子大生のプログラミング教育に取り組む。自主学习システム、出欠管理システム、タッチタイピング練習支援システムの開発をして成果をあげる。教育学科のゼミ登録システムを開発し貢献。平成15年4月から2年間神戸女子大学入試センター長、平成19年4月から2年間教育学科主任。

瀬口 正晴先生

小麦粉研究の第一人者、小麦デンプン粒表面タンパク質の研究、小麦粉グルテンフリー膨化食品の研究で優れた成果をあげる。また「カステラ用小麦粉の製造方法」「米粉パン類の製造方法及びパン類製造用米粉の劣化防止方法並びに米粉パン類製造ミックス粉」で特許を取得。平成12年4月から6年間学生部長、平成18年4月から4年間家政学部長。平成25年4月から4年間家政学研究科食物栄養学専攻主任。日本穀物科学研究会会長。AACCI (American Association of Cereal Chemists, International) Japan section 副会長。

お知らせ

地方公共団体と就職支援協定を締結

神戸女子大学は以下のとおり地方公共団体と就職支援協定を締結しています。

- 平成26年 12月 愛媛県
- 平成28年 5月 広島県*
- 平成29年 1月 鳥取県*
- 平成29年 2月 兵庫県

協定を結んだ県とは、県内の企業情報、各種就職イベント等の周知、大学学内での就職相談会、企業説明会の開催や学生保証人に対するIJUターン就職にかかわる情報提供などの支援を行なうことになっています。

*印は神戸女子短期大学とも就職支援協定を締結

結果報告

神戸女子大学

平成29年3月卒業生の国家試験の結果について

第31回 管理栄養士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	149	138	92.6%
管理栄養士養成課程(新卒)	9,425	8,704	92.4%
全国合計	19,472	10,622	54.6%
第19回 精神保健福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	6	5	83.3%
保健福祉系大学等(新卒)	1,796	1,287	71.7%
全国合計	7,174	4,446	62.0%
第29回 社会福祉士国家試験	受験者数	合格者数	合格率
神戸女子大学	57	32	56.1%
福祉系大学等(新卒)	9,615	4,450	46.3%
全国合計	45,849	11,828	25.8%

行事日程

- 7月
- 1 土 学内編入学試験
 - 4 火 すいか祭り
 - 17 月 祝日授業日《海の日》
 - 21 金 【須磨キャンパス】前期授業終了
 - 22 土 オープンキャンパス
 - 24 月 【短大】前期定期試験期間開始(8月10日まで)
 - 28 金 【PIキャンパス】前期授業終了

- 8月
- 5 土 オープンキャンパス(6日まで)
 - 10 木 【大学・短大】補講期間等終了
 - 11 金 《山の日》
 - 13 日 全学一斉休業(16日まで)
 - 19 土 オープンキャンパス
 - 24 木 【短大】前期定期試験結果、追・再試験発表

- 9月
- 1 金 【短大】前期追・再試験(6日まで)
 - 7 木 【大学】前期科目最終成績発表
 - 10 日 オープンキャンパス
 - 13 水 【短大】前期追・再試験成績発表
 - 18 月 《敬老の日》
 - 22 金 【大学・短大】後期授業開始
 - 23 土 《秋分の日》

- 10月
- 9 月 祝日授業日《体育の日》
 - 14 土 一般編入学試験
 - 21 土 【須磨キャンパス】学校教育学専攻科入試(一次)

- 11月
- 3 金 推薦入試前期(A・B・C・D、自己推薦、ファミリー)《文化の日》
 - 4 土 指定校特別推薦入試、社会人特別入試
 - 10 金 学園祭準備
 - 11 土 学園祭(12日まで)《創立記念日》
 - 23 木 祝日授業日《勤労感謝の日》

- 12月
- 16 土 推薦入試後期
 - 22 金 【大学・短大】年内授業終了
 - 23 土 《天皇誕生日》
 - 27 水 【須磨キャンパス】補講期間終了
 - 29 金 全学一斉休業(1月3日まで)

- 2018年
- 1 月 《元旦》
 - 5 金 【大学・短大】後期授業再開
 - 8 月 《成人の日》
 - 13 土 大学入試センター試験(14日まで)
 - 17 水 阪神・淡路大震災 鎮魂の日
 - 18 木 一般入試前期(19日まで)
 - 26 金 【須磨キャンパス】後期授業終了
(※PIキャンパスは2月2日終了)
 - 27 土 【短大】ブルーム展(2月1日まで)
 - 30 火 【短大】後期定期試験期間開始(2月5日まで)

編集後記

「神女広報CROSSROADS vol.24」の発行は、梅雨明けの時期に重なります。

今回、神女広報に初めて神戸女子大学附属高倉台幼稚園と学園本部が運営するオープンカレッジの記事を掲載いたしました。特集のとおり今年度からさらに学園の組織は絆を深めます。

集まって初めて存在感を発揮するものは世の中に数多く存在しますが、アジサイの花もそのひとつではないでしょうか。小さな花(実際はガクが変化したもの)が寄り集まって、手毬状に咲いている姿は、華やかでありながら落ち着きがあり青、紫、白、ピンクの花が見ごろとなる梅雨時に清涼感をただよせ多くの人びとに愛されています。学生、教職員の一人ひとりがさらに活躍し、アジサイの花のようにひとまとまりになればより大きな成果になっていくことでしょう。今後も読者の皆さんに学園全体が発展していく姿をお伝えしてまいります。

本誌の発行にご協力いただきました多くの関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

(M.O)



今号のバラ ブルー・バユー Blue Bajou

ブルー・バユーは、春と秋、年2回咲く四季咲き性のバラです。バラの改良の歴史の中で、四季咲き性は画期的なもので1867年に作出されました。それ以前のバラは、主に春だけに咲く一季咲き性で「オールドローズ」と呼ばれ、四季咲き性のバラは「モダンローズ」と呼ばれます。四季咲きで多花性のブルー・バユー(1993年作出)は、青いバラの一種で、丸くて淡い藤色の花弁はとても可憐です。バラには本来青い色素がなく、英語で不可能を意味する「blue rose(“真”の青いバラ)」は、世界中のバラ育種家にとって長年の夢と言われてきました。

それは、近代から現代に国際貿易都市として発展してきた神戸で志を希求する皆さんの姿と重なります。神戸は今年開港150年を迎えましたが、モダンローズは偶然にもその前年に誕生しています。

ドイツ語で「青い入り江」という名の、この不可能への挑戦を具現したバラを、自分という新たな歴史を創っていく皆さんへの応援花として贈ります。

神戸市立須磨離宮公園 園長 青木 ひろみ